

## 2017年度新千里東町地域自治協議会第3回理事会議案書

日時：7月15日(土)10:00～ 場所：東町会館2階大集会室

### 議案

1. 2017年度第2回理事会議事録の確認と承認
2. 委員会の活動報告（来月の開催案内を含む）
  - ・広報委員会（6月25日開催）
  - ・キャンドルロード実行委員会（7月1日開催）
  - ・防災委員会（7月2日開催）
  - ・近隣センター移転計画対策委員会（7月8日開催/他地域見学含む）
  - ・**環境委員会（8月5日（土）開催予定）**
3. 2017東町夏まつり事業計画案の承認について
4. 2017東町夏まつり全体説明会開催の案内（8月5日（土）開催）
5. もちつき実行委員会について
6. 2017年度助成金入金完了のお知らせ
7. その他
  - （1）2017年度各委員選出のお願い
  - （2）東丘こども安全見守り隊について
  - （3）交流室の利用について
  - （4）団体よりの報告
  - （5）その他（協議会理事名簿配布について等）

**第4回（8月）は夏祭りにつき休会です。**

**第5回理事会日程 9月16日（土）10:00～12:00 東町会館2階集会室**

#### 理事会出席者へのお願い

1. 理事自身をご出席頂けない場合は、必ず代理者の出席をお願い致します。
2. この理事会での議論の内容を貴団体内関係者に周知頂くとともに、次回理事会議案の内、関わりのある案件については、貴団体内で話し合いの上ご出席ください。
3. 理事会等の会議は情報公開を基本としております。東町に関係のある人であれば、理事以外のどなたでも理事会等にオブザーバーとして出席頂くことができます。貴団体内で協議会活動に関心のある方に出席をお勧めください。
4. 理事会等で議論した内容は、奇数月発行の広報紙「ひがしおか」、協議会専用ホームページ（<http://www.e-kyogikai.com/>）に掲載しますので、ご利用をお奨めください。

## 第2回新千里東町地域自治協議会理事会議事録

日時：2017年6月18日(日)10時～11時05分

場所：東町会館2階集会室

出席者

\*役員：伏原会長、西村・花城両副会長

勝久・中須・前園(以上会計)・橋本(書記)

\*理事：総数20名中、出席者19名(上記役員7名を含む)

柳野・濱中・小川・尾上・古橋(園田代理)・塩津・吉経・村尾(以上自治会)

寺村・福岡・原・清水(以上諸団体)

欠席：田村

\*監事：欠席(植田、藤谷)

\*相談役：室井(東丘小校長)

\*事務局：玉富

\*オブザーバー：メゾン千里SMS(加藤委員長ほか4名)/若松(豊中市)

### 議事

#### 1. 前回理事会議事録の確認

第1回理事会議事録について確認を行い、出席者の項のみ修正しました。

#### 2. 各委員会報告

##### ① 環境委員会

・てによこ広場の活用につき、今後建て替えを行うUR都市機構や、「こぼれび通り」の改装を行う市と連携することを視野に入れ、一番適切なタイミングで地域の意見を幅広く集約することとしました。(地域全体でのワークショップ開催を含む)

・また、東町公園の整備を進めるため、千里竹の会への師事メンバー募集を本格化させ、市との自主管理協定の締結をめざすと報告がありました。

(2019年度、自主管理協定締結が目標)

・東町内にてアライグマの目撃情報が複数あると報告がありました。

中には狂犬病を持っている個体もあり非常に危険なので、目撃した場合には、豊中市公園みどり推進課 自然環境保全係へ連絡頂くよう依頼を行いました。

\*目撃情報が集約され、生息・活動範囲が固定されれば捕獲を実施する場合もあり。

#### 3. 2017 東町夏まつり計画案の承認について(委員会報告含む)

・6月11日(日)第一回の実行委員会を開催し、委員長に伏原基博氏、副委員長に西村伸也氏、小川浩一氏、会計に前園雅子氏、中須篤美氏、勝久恭子氏を選任しました。

・続いて配付資料に基づき説明があり、「2017 東町夏まつり」は、8月19日（土）の開催（雨天中止の場合順延はせず、翌20日（日）午前中に抽選会のみ実施）、開催規模・内容については前年度の計画を踏襲という事で承認されました。

・7月2日（土）19時より、東町会館2階集会室で事前説明会を開催させていただきます。

・主な参加団体に2017 東町夏まつり関連用の青いファイルを配付させていただきました。新規資料を順次ファイリング頂くようお願いしました。

#### 4. その他

- 1) 会議冒頭、メゾン千里の建替えにつき、メゾン千里 SMS（建替え準備委員会）委員長の加藤氏より配付資料に基づき説明がありました。メゾン千里では、建物の老朽化に伴い、建て替えを視野に建物更新が検討されており、今後、具体的な計画を検討するにあたり、協議会の理事会で意見を聞きたいとの申し出がありました。
- 2) 夏祭り用に作成した木製ステージが、年月の経過により劣化が進んでいることから、廃棄して地域の催しでの調理用の薪として活用することが、理事会で承認されました。
- 3) 東丘新聞委員会など、地域の実行・運営委員会への協議会からの委員選出のお願いが再度あり、役員にて預かると会長より回答がありました。
- 4) 協議会理事名簿を次回理事会にて配布する事としました。

以上

2017 年度第 3 回理事会日程 7月15日（土）10：00～ 東町会館2階集会室

#### 理事会出席者へのお願い

1. 理事自身をご出席頂けない場合は、必ず代理者の出席をお願い致します。
2. この理事会での議論の内容を貴団体内関係者に周知頂くとともに、次回理事会議案の内、関わりのある案件については、貴団体内で話し合いの上ご出席ください。
3. 理事会等の会議は情報公開を基本としております。東町に関係のある人であれば、理事以外のどなたでも理事会等にオブザーバーとして出席頂くことができます。貴団体内で協議会活動に関心のある方に出席をお勧めください。
4. 理事会等で議論した内容は、奇数月発行の広報紙「ひがしおか」、協議会専用ホームページ（<http://www.e-kyogikai.com/>）に掲載しますので、ご利用をお奨めください。

## 広報委員会 議事録

-----  
開催日時間：2017年6月5日10時半～

出席者：小川、勝久、倉垣、玉富、寺村、花城(敬省略)  
-----

### ■役員選任について

→委員長に花城 康貴氏を選任した。

### ■ひがしおかについて

→偶数月に編集会議を実施し、各委員会からの記事をあげてもらい  
奇数月に発行する。広報委員会は、その発行までの責任を持つ。

個別の記事内容については、各委員会の責任で、広報委員会は責任を  
持たない。

広報委員会としては、理事会で行っていることを広報の観点でお伝え  
する

前月と同じ内容であがってくる場合もあるので、中身を確認

### ■ホームページについて

→倉垣さんが管理者

協議会 HP の内容が基本的に「ひがしおか」に転載される

→ホームページからの問い合わせ

問い合わせ先のメールアドレスは花城に設定

### ■掲示板の管理、

→破損した掲示板を修理復旧も広報担当

次回

協議会理事会にて、協議会ホームページ、メールアドレスなどを再度案内する

# 協議会ホームページのご案内

2017. 7. 15 広報委員会

広報委員会では、その活動のひとつとして協議会ホームページを運営しています。ここにあらためて掲載手順等紹介しますので、ご活用のご希望をお願いします。



URL [e-kyogikai.com](http://e-kyogikai.com) ( <https://www.e-kyogikai.com/> )

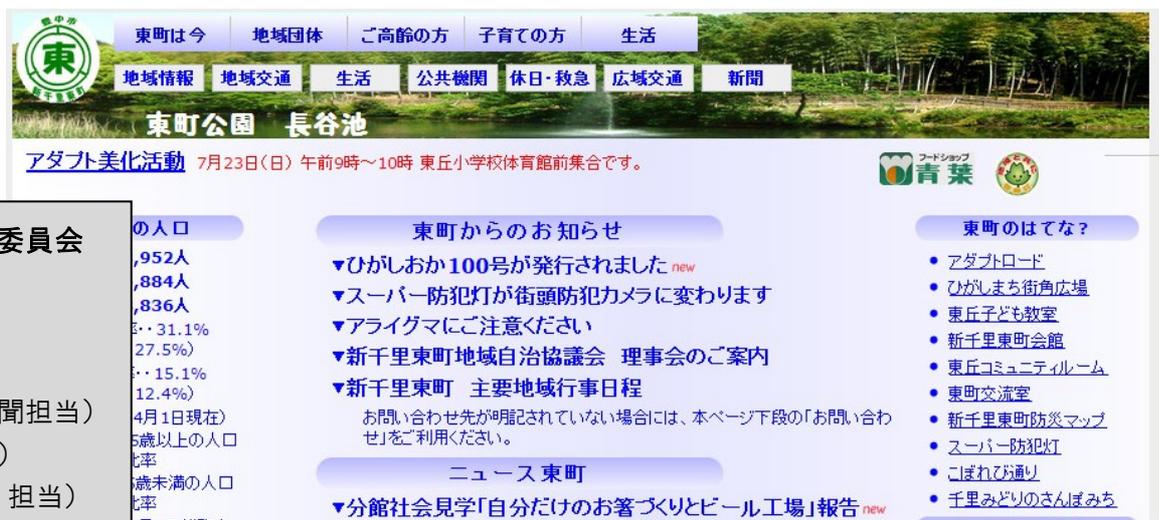
コンテンツの掲載については、“地域自治協議会 広報手順”(添付)にしたがいます。

## 要点

- 掲載決定及びコンテンツ原稿作成は、情報発信の責任部署\*が行う。(広報委員会では作成しません)  
※責任部署：委員会、協議会事務局(各委員長、事務局長)
- 依頼されたコンテンツを広報委員会:HP 担当が掲載します。(レイアウト等は一任願います)
- 原則、ホームページに掲載コンテンツを広報誌“ひがしおか”に掲載します。(記事重複作成の排除)

以上

協議会ホームページとは別に“東町総合情報サイト”(e-senri.jp)も開設されています。合わせて御利用ください。



2017 年度広報委員会	
委員長	花城
委員	寺村
	玉富
	小川(新聞担当)
	勝久(同)
	倉垣(HP 担当)

# 地域自治協議会 広報手順について

2017年7月7日改定

新千里東町地域自治協議会 広報委員会

**地域自治協議会の広報媒体として、広報誌「ひがしおか」、ホームページ、掲示板、各戸配布等が利用できます。**（団地掲示板・各戸配布：必要数は交流室でご確認ください。公共掲示板：ホームページ広報委員会に掲載の利用基準を守ってください。）

**情報発信の責任部署（委員会または事務局）が、広報コンテンツを作成し利用媒体を決定します。**

## ホームページ（2017年7月現在の協議会ホームページを前提）

原則、情報発信の責任部署より依頼されたコンテンツを掲載します。ただし、そのレイアウトなどは広報委員会にご一任ください。

HP タブ	掲載内容	掲載手順（情報はすべて電子媒体で）
お知らせ	協議会からのお知らせ	情報責任部署 → HP 担当へ（決定後早めに）
協議会 NEWS	協議会活動報告	情報責任部署 → HP 担当へ（1週間以内）
総会・理事会	総会・理事会からの報告 （概要や総会・理事会資料・議事録）	概要報告：広報委員会（2週間以内）で作成・掲載 総会・理事会資料：事務局 → HP 担当へ（総会・理事会終了後 2週間以内 ただし、議事録は、次月の理事会承認後速やかに）
委員会	委員会からの報告	情報責任部署 → HP 担当へ（適宜）
地域自治協議会	協議会の紹介・規約など	事務局 → HP 担当へ
ダウンロード	報告、申請等の書式	事務局 → HP 担当へ
お問い合わせ	協議会への問い合わせ	広報委員長宛てに配信、対応は広報委員長。

## 「ひがしおか」

- 原則、ホームページにある新しいコンテンツを「ひがしおか」に掲載します。
- 紙面の都合によりコンテンツを広報委員会の責任で修正・省略する場合があります。また、紙面レイアウトなどは広報委員会にご一任ください。
- 掲載にあたっての留意事項や新規追加事項があれば、原稿期限（偶数月 20日：発行は奇数月 1日）までにお知らせください。

### 担当

広報委員会 ひがしおか担当 小川、勝久  
広報委員会 HP 担当 倉垣

以上

# 2017年度\_第1回キャンドルロード実行委員会議事録

日時：2017年7月1日(土) 19:00~20:15

場所：東町会館1階集会室

出席者：小川委員長、中須副委員長・勝久副委員長、前園会計(以上協議会理事・役員)  
吉経(3-3)・柳野(メゾン)・尾上(ガーデン)

欠席：伏原(ジェイグラン/協議会会長)・園田(UR)・橋本(桜ヶ丘)

## 1. 協議事項

### ① 委員長、副委員長、会計の選任

互選により、委員長に小川氏、副委員長に伏原氏、中須氏、勝久氏、会計に前園氏を選任しました。また、会計作業については、協議会会計の中須氏、勝久氏が前園氏を補佐する事としました。

### ② 2017東町キャンドルロードの事業計画の検討

総会で承認された事業計画、予算に則って、前年度と同様の規模とする事としました。

ただし、細部については、今後千里キャンドルロードプロジェクトと協議、調整する事とし、東町地域全体で一体感を実感できるイベントとする事としました。

開催日は、2017年11月3日(金)

\*雨天順延の場合など、詳細については千里キャンドルと調整。

### ③ 参加募集について

2014年度よりキャンドルイベントを開催し、人材発掘、地域コミュニティ活性化に広く寄与してきている。特に東丘児童、若い家族層にかなり浸透してきているので、今年度より各団体の代表宛てで広く参加を呼び掛ける事としました。

\*7月の理事会にて募集を開始する。(参加募集の締切りは9月の理事会9月16日(土))

### ④ 参加スタイルについて

団体の事情によっては、キャンドルの絵描きなどで苦勞をしている団体もあるので、無地の紙コップでもじゅうぶんに綺麗であるなど、もっと気軽に参加してもらえるような周知を工夫する事としました。

### ⑤ 模擬店などについて

昨年同様、今年度も模擬店、フリマ出店の募集を行う事としました。

### ⑥ 当日ボランティアについて

例年、当日ボランティアの出足が遅く、一部エリアで人手不足の状況が続いている。  
(特にこぼれび通り、もみじ橋通り坂など)

\*ほとんど皆がキャンドルの点灯に興味があるため。

早い時間帯から「当日お絵描きコーナー」を開催するなどの周知を行い、紙コップ並べに於いての人手不足の改善を図りたい。

すぐに解決策がないのが現状ながら、引き続きアイデアを練る事としました。

⑦ メインテーマについて

2015年度は「東町まち開き 50周年」という節目で、「皆で東町の誕生日を祝おう」というお題目がありましたが、11月3日となると、ハロウィンは終わっており、クリスマスにはまだ少し早いという開催日設定になっております。

「繋げよう、繋がろう」の原点に戻る案もありましたが、メインテーマについても、千里キャンドルと協議、調整する事としました。

⑧ 当日作業の負担軽減について

今までキャンドルイベントに参加した委員より実体験に基づき、紙コップのみならず、砂を早い段階に事前配布すると、当日の作業が楽になるとの提言がありました。

今年度は早い段階から、紙コップ、砂を希望する団体に配付する事としました。

⑨ 今年度のビラについて

2015年度同様、千里キャンドルとの共同作成を基本とし、きちんと東町側の希望も伝える事としました。

⑩ 行政手続きに関連した重要事項について

行政、消防、警察に提出する警備計画書の遵守は絶対事項なので、計画に無い場所へのキャンドルの設営、設置はお断りする事としました。

また、マンションの敷地内に並べたり、ブースを作成する場合は、マンション所有者、管理組合・自治会の許可を得て頂くよう周知する事としました

その際にも行政、消防、警察に警備計画書を提出する必要があるため、事前に連絡頂くよう各団体をお願いする事としました。

⑪ 事前説明会の実施

例年開催しているキャンドルイベント直前の全体説明会とは別に、9月末に事前説明会を開催、次回実行委員会もタイミングをみて9月末開催とする事としました。

以上

★次回キャンドルロード実行委員会開催日時 9月末開催予定  
2017 東町キャンドルロード事前説明会 9月末開催予定

# 2017年度 第1回防災委員会議事録

1. 日時 : 2017年7月2日(日) 10:00~11:20
2. 場所 : 東町会館1階集会室
3. 出席者 : 小川(協議会理事)、清水(防犯)、石丸(女性防火クラブ)  
前園・勝久・中須、(以上、協議会会計)尾上(女性防火クラブ)  
須藤(福祉)、廣田(シティハウス)、西(ガーデンヒルズ)  
森元・田中(ジオメゾン管理組合)、森田(ローレルコート)  
橋本(グランドメゾン自治会)、内山(グランドメゾン管理組合)  
高瀬(3-3) 以上、16名

2017年度初めての委員会につき、冒頭自己紹介を行いました。

## 協議事項

### 1. 役員の選任について

互選により、小川浩一氏を委員長に選任しました。

防災委員会細則に則り、委員長よりの指名で清水千緋氏、石丸誠子氏、前園雅子氏を副委員長に選任し、委員会メンバーの同意を得ました。

加えて、前年度協議会役員として東丘小学校に備蓄されている備品、備蓄品の整理、棚卸しを行った、中須氏、勝久氏、前園氏に、引き続き防災備蓄品の整理、管理面でのリーダーを担当頂く事としました。

(防災備蓄品関連の資料作成は中須氏の担当)

### 2. 今年度の防災訓練について

11月26日(日)実施予定の防災訓練について、予定通り実施する事としました。

(雨天の場合は中止とするが、雨天時の訓練も重要ではないかという意見もありました。)

\*以下の点について委員会にて検討、協議する事としました。

## ① おかゆ、保存水を使用した「炊き出し訓練」について

備蓄されている「おかゆ」はお湯を入れてすぐに食せるタイプのものであり、これでは「炊き出し訓練」にならない。

また、賞味期限にもまだ余裕があり、今年度使用するのには適切ではない。（反面、カレーの賞味期限切れが迫っている。）

豊中市、消防などに、期限切れ間近なアルファ化米などが無いか確認を行い、もし提供してもらえようなら、それを使用した「炊き出し訓練」を検討する方がよい。

（小学校のかまどを使わせてもらい、一気に大量に調理する。）

豊中市に於いて、臨時出店などでは「米飯」は全面的に不適切とされている現状がある。炊き出し訓練を行う場合には、他のメニューを検討した方がいいのではないかという意見もあり。

\* まだ時間的に余裕があるので、引き続き検討する事としました。

## ② 参加者の募集/訓練の告知について

これまでの募集スタイルは、「人集め」に傾倒しているのではないかという意見もあり。

これまでのように各自治会・管理組合ごとに参加してもらおうのもいいが、実際の避難を想定した場合に現実的ではない。

個人、友人、家庭ごとに気楽に参加してもらえる募集・告知方法を検討した方がよい。

反面、自治会ごとにまとまって行動する事が大切という意見もあり。

しかしながら、自治会に属していない人たち、自治会の存在しないマンションもある事から、参加募集の基本対象は「東町住民全員」。

参加スタイルも個人、友人、家族ごと、自治会・管理組合ごとと、広く門戸を開けるスタイルで告知を行う事としました。

### ③ 啓発活動の大切さの再確認

避難訓練、防災備蓄は非常に大切ですが、危機意識というものは巨大災害から時間が経つと薄れるのが常という現実があります。

また、膨大な量の備蓄品を備えたとしても、いざという時には絶対量が足りない現実もあります。

しかしながら、訓練、備蓄品は必要であると同時に、各自・各家庭・各自治会、管理組合で備えをする事で減災に繋げる事が出来るかもしれない。

以上のような考えから、無理のない備蓄品や家具の転倒防止、東町地域として火は出さないといった注意喚起や啓発活動を行っていく事を確認しました。

### ④ 備蓄品と備蓄品倉庫、防災資機材庫の管理と整理

現在、協議会防災委員会備蓄品が東丘小学校体育館地下倉庫に備蓄されている経緯の説明がありました。

(2013 年度配布の「防災部会への提言」に基づいて)

2013 年度当時の校長先生に地下倉庫を開放頂いたが、地下倉庫は狭く、身動きも取りにくく、いざ震災が起こった時には危険(二時災害)がある事、備蓄品は分散して管理する方がリスクも少なく、体育館地下倉庫は取り急ぎの緊急避難的対応だった事の説明がありました。

また、豊中市危機管理課が小学校内に設置している防災資機材庫は、あくまで「自主防災組織＝防災委員会」も非常時に使用出来る規定ですが、その規定の解釈が間違っている旨指摘がありました。

(現在、協議会所有のテントが保管されているため不都合もあり)

この件については室井校長からも提言があり、東丘小学校内に協議会管理の倉庫を設置できるかどうか、協議、調整を行っていく方向であると説明がありました。

(現時点、あくまで今後の協議、調整です。)

## ⑤ 防災マニュアル（サンプル版）の提示

昨年度、理事会にて作成した防災マニュアル（サンプル版）を委員会メンバーのみなさまに配布致しました。

各団体にて閲覧、チェック頂き、意見集約、今後の調整の依頼を行わせて頂きました。

我々の組織はあくまでボランティアの集まりであり、警察、消防、自衛隊、公務員ではなく、仮に巨大震災が発生した場合には、大阪府民全員が被災者である事の確認を行いました。

マニュアル、運営・運用案は必要ではあるが、実際誰が避難所に来られるかわからない現実もあります。

しかしながら、そこに集まった人たちが、混乱なく、助け合って行動出来るマナーの高さやモラルこそが重要であると確認しました。

また、乳幼児や高齢者、病気を持った方たちを最優先でケアする姿勢こそが減災に繋がるとの見解も示されました。

\* 防災福祉ささえあいづくり推進事業に於ける「豊中市避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）」の考え方との整合性もある。

## ⑥ 千里フェスタに於ける「防災フェスタ」に関して

12月2日(土)、第八中学校で開催される千里フェスタの中で行われる「防災フェスタ」に関して以下のような意見がありました。

- 防災委員会メンバーとして見学させてもらうのはどうか？
- 地域自治協議会主催による防災訓練（11月26日）と開催日も近いので、別々の日、別の場所で開催するのはもったいない。

お互い調整して「コラボ」的な形を探れないか等の意見もありました。

\* 今後、調整して計画を進めていく事としました。

## ⑦ その他

- いくつかの団体内での防災訓練で「参加賞」的なものを用意した時には参加率が上がったとの報告あり。

現在備蓄されている「カレー（来年の秋が賞味期限）」を11月の防災訓練の参加賞にする提案もあり。

（次回委員会で検討）

\*基本的な考えとして、「人集め」ではなく、参加者の興味＝意識付けを啓発する事が主目的。

以上

# 防災部会への提言

東町地域自治協議会会長 小川浩一

## 1. 南海トラフ大地震の被害想定(平成 25 年春の情報)

大阪府全体として

避難者数 150 万人

帰宅困難者 150 万人

停電や電柱の損壊で 9 割の固定電話が通話不可。

携帯電話も利用困難。

\* 一切の連絡が取れなくなるので

協議会、各役員の連絡体制を確立させておく必要がある。

**防災部会メンバーの名簿の確認と修正(別資料にて)**

**2013 年度資料 (参考)**

## 2. 断水 880 万人

(被災 1 ヶ月後に大半が復旧し、影響は 30 万人まで縮小)

**飲料水の確保が急務**

医療機関、病棟の被災、ライフラインの停止

医師、医薬品の不足で 29 万人の患者が受診困難になる。

人工透析等、緊急を要する患者の受け入れ態勢。

梅雨時、夏場だと衛生面の問題も発生する。

**相当の時間を要するが、時間を掛けてでも独居高齢者**

**重い病気を抱えている人の原状を把握する必要がある。**

## 3. 物資関連

大阪府全体で 500ml ペットボトルが 16 万本不足

食料、水、簡易トイレ、毛布等の備蓄品の不足

新千里東町として備蓄品の量と

想定される不足量を把握しておかなければならない。

**東町の現状**

男 3,785 人

女 4,654 人

合計 8,439 人 (平成 25 年 10 月 1 日現在)

高齢化率・・・30.1% (全国 25.0%) 2,540 人

子ども率・・・13.8% (全国 12.9%) 1,165 人

平日の昼間に被災したら

約 3,700 人近くの高齢者と子供が町にいる状態にある。

**(防災部会として小学校、中学校の教職員、PTA 役員との連携が重要)**

#### 4. 地域の住民への注意喚起、啓発活動

普段お金で買えるものは全て供給が止まる。  
(各家庭、個人としても意識して備蓄するしかない。)

普段使うものを無理のない範囲で多めに備蓄する。

**HP、広報誌「ひがしおか」、掲示板を利用し  
東町防災マップ作成と併せて各自治会、地域住民への周知を徹底する。**

参考：安全に避難するために必要な物

各家庭で懐中電灯、携帯ラジオ、救急セット、薬、お薬手帳のコピー、  
予備のメガネや補聴器など(各自治会、個人にて備蓄する。)

避難生活のために必要な物

3日分の水と食料、携帯電話の充電器、簡易トイレ、電池など  
(防災部会、各自治会、個人にて備蓄する。)

ほかの被災者の救出のために必要な物

のこぎり、バール、ジャッキなど  
(防災部会にて備蓄する。)

#### 5. 今年度の防災部会の予算

**防災事業 606,000 円**

2012 年度 218,000 円

昨年対比+388,000 円

備考：★防災訓練等

以上の事から下記のように提言させていただきます。

勉強会、避難訓練も重要ではありますが、それらは今後も継続していく必要もありますが、「いま巨大災害が起きたら」東町には一切備蓄品がない状態です。

東丘小学校が緊急避難場所であり、巨大災害が起きた時に東丘小学校の職員室が対策本部になるのであれば、小学校のグラウンド南側、もしくは体育館の地下倉庫に町としての防災備蓄倉庫を作り、防災部会が管理すべきだと思います。

**↑東丘小学校・十河校長先生の同意・協力が必須。**

(東町公園グラウンド、千里中央公園の市の管理施設にも倉庫を設置するのが理想です。この2ヶ所は環境整備委員会でも議論になっているので、来年度以降検討、実践していく方向。)

## 5年間保存の2リットルの飲料水

ケース6本入りで市場相場は900円～2,000円

100ケース購入しても最大で200,000円の支出の見込み

圧倒数が足りないですが、各自治会、個人で備蓄する事で、その不足分は補える。**(注意喚起と周知が重要)**

その他、体力的に弱い乳幼児や高齢者の方が必要とする物を優先的に備蓄する事で被害は最小限に食い止められる。

アルファ米、携帯ガスコンロ、携帯ガスボンベ、毛布なども少量ずつでも購入し備蓄していく。(毎年買い揃え、追加していく。)

### 参考

ヨド物置き エルモ 一般型 2220×2570×2116

規格サイズ (幅×奥行×高さ)2220× 2570× 2116 (mm)

工事費込み 196,875円～

↑

**水などの備蓄品以外に新たにテントを購入しても収納出来ます。**

倉庫の設置については、東丘小学校・十河校長、豊中市と交渉。

東町公園、千里中央公園への設置については豊中市と交渉する。

(または体育館地下倉庫、空いている教室等を備蓄品倉庫として利用させて頂く。)

防災部会で議論し、承認されれば、これらの物資は即購入可能です。

**「いま巨大災害が起きたら」**という事を想定し、予算の中で必要な物を揃えそれらを備蓄する方法、場所を防災部会にて選定、決定して頂きますようよろしくお願い申し上げます。

以上

東町地域自治協議会会長 小川浩一

**2013年度資料 (参考)**

## 新千里東町地域自治協議会 防災委員会 細則

### (名称)

第1条：新千里東町地域自治協議会（以下「協議会」という。）に防災委員会（以下「本会」という。）を設置する。

### (組織)

第2条：本会は協議会規約第35条に基づき、公募に応じた住民及び各種団体等から選出された者をもって構成される。

### (目的)

第3条：本会は住民の支え合い、助け合う相互扶助の精神に基づいて、誰もが安全で安心して暮らせる町づくりを自主的に推進する。

2. 災害に備え、人命を最優先に考え、自発的な防災活動を行う。
3. 地震その他の災害発生時には、被害拡大の防止および軽減を図るとともに、応急活動全般を行う。

### (事業)

第4条：本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 防災に関する知識や技術の普及に関すること。
- ② 防火、防災などの意識の向上に関すること。
- ③ 協議会メンバー・要援護者の安否確認および救護体制の整備に関すること。
- ④ 地震その他の災害発生時に設置される新千里東町災害対策本部本部室の活動に関すること。
- ⑤ その他、本会の目的を達成するために必要な事項。

### (役員)

第5条：本会には次の役員を置く。

委員長 1名  
副委員長 若干名

2. 委員長は防災委員会メンバーより互選する。
3. 副委員長は委員長が指名する。

### (役員任期)

第6条：役員任期は1年とする。但し、最長4年まで再任できる。

(役員 の 責務)

第7条：本会の役員は次の職務を行う。

- ①委員長は、協議会会長の指揮の下に、防災委員会を代表し、会務を総括する。  
また、地震等の災害発生時に設置される新千里東町災害対策本部本部長をサポートし、本部室の活動を監督する。
- ②副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または委員長が不在の際はその職を代行する。

(会議 の 開催)

第8条：本会は、適時、下記事項を審議するため会議を開催し、委員長がこれを招集する。また、本会は、協議会理事会において、活動状況などについて報告を行う。

- ①事業計画に関すること
- ②本会の予算及び決算に関すること
- ③その他、委員長が特に必要と認めたこと
- ④協議会に提出すべきこと
- ⑤協議会より委任されたこと

(運営 に関する 費用)

第9条：本会の運営に関する費用は、協議会で承認を得た予算、その他の収入をもってこれにあてる。

(会計 年度)

第10条：本会の会計年度は毎年4月1日より始まり翌年の3月31日に終わる。

(雑則)

第11条：この細則に定めのない事項で、本会の運営に必要な事項は、委員長が会議に諮り定める。また、必要に応じて審議案件として理事会に提出するものとする。

(付則)

1. この会則は平成27年5月18日から実施する。

# 近隣センター移転計画対策委員会議事録

1. 日時 : 2017年7月8日(土) 19:00~20:15
2. 場所 : 東町会館1階集会室
3. 出席者 : 小川(委員長)・清水(副委員長)・勝久・太田・福岡正石丸・福岡鈴・常川・西田

オブザーバー

豊中市

内田、坪井(千里ニュータウン再生推進課)

中井(資産管理課)

欠席 : 伏原、原

## 1. 委員会体制(委員長、副委員長の選任)

互選により、委員長に小川浩一氏、副委員長に清水博文氏を選任しました。

## 2. にしおかコミュニティセンター、OPH新千里西町集会所見学の報告

冒頭、街角広場代表の太田氏より説明があり、続いて清水氏、福岡正輝氏、勝久恭子氏、小川浩一氏より実際に見学した感想が述べられました。

その中でもほとんどの部屋のドアが引き戸タイプであった事、各トイレが自動点灯、自動消灯であった点は参考になるとの意見があるとともに、OPH集会所のフルサッシタイプの窓による採光と外のオープンカフェとの繋がりは参考になるとの感想が述べられました。

## 3. 新地区会館レイアウト図の検討

再度修正した新地区会館の計画図(豊中市作成)を元に下記の点について協議しました。

- ① 会館北側の窓、オープンカフェの窓について、足元から高さ2mぐらいのフルサッシタイプとすると同時に全て引き戸タイプの窓とします。(オープンカフェ西側部分も含む)  
集会室に於いては、窓の内側に可動式のブラインドを付けるなどし、利用者のプライバシーにも配慮します。

- ② 玄関ドアも可能ならば引き戸タイプのドアとします。  
(車椅子利用者の人たちにも配慮)
- ③ 空調のランニングコスト削減効果を上げるため、オープンカフェと調理室の境界の廊下にも引き戸を付けます。(引き戸は集会室側に収納)
- ④ 全集会室の出入り口ドアは、全て引き戸タイプとします。  
(経費的に可能であれば倉庫の出入り口も全て引き戸タイプ)
- ⑤ 調理室、事務所、小集会室の西側には、全て裏口を設置します。

調理室に裏口は不要との意見もありましたが、玄関付近で火災が発生した場合に、通路奥・集会室奥側に非常口がないため。

- ⑥ 北側大集会室と南側の集会室の東西方向の間仕切りは、従来の吊り下げタイプのパーテーションではなく、引き戸タイプのパーテーション2枚とします。(パーテーション同士の間には、不要な机などを収納出来るだけのスペースを確保します=限られた空間の中での倉庫としての役割)
- ⑦ 南側小集会室(2部屋)を仕切るパーテーション(南北方向)の北側の支柱は、可能ならば必要に応じて取り外しの出来る仕様とします。  
⑥と⑦により、新春交歓会、地域説明会など、大広間として使用する目的にも対応させます。
- ⑧ オープンカフェと調理室の間は、シャッターで開閉する事によりカウンターキッチンとしても使用可能としていますが、両スペースの間の壁を一部撤去して通行可能な仕様にしてはどうかという意見もありました。しかしながら元々のコンセプトとマッチングしないので、当初通りの計画がいいのではないかという意見もありました。引き続き検討します。
- ⑨ 会館北側に庇(ひさし) 1.5~2mを予定しています。

#### 4. 今後の検討課題

- ・上履き仕様とするかどうか、今後引き続き検討を続けていきます。
- ・その他、細部についても今後委員会にて検討していきます。

次回委員会：日時未定(当面検討課題が無い事から、今後必要に応じて開催致します。)

以上

■2017. 6. 24（土）集会所事例見学

<OPH新千里西町集会所「コミュニティハウスHOT」>

◇道路側（千里アートロード側）外観



◇玄関



◇玄関ベンチ（クツ脱ぎ用）



◇集会室



◇集会室とベランダ間のサッシ（玄関前広場とつながったベランダ）



◇キッチン（奥はベランダに出ることができる談話室）



<にしおかコミュニティセンター（学校・地域連携室）>

◇コミュニティセンター入り口側（北側）外観



◇館名表示板



◇身障者用トイレ



新千里東町地域自治協議会理事会( 7月14日開催)

団体報告・連絡・依頼事項

提出日	7月12日
団体	公民分館
作成者	寺村
案件名	東丘小学校 校舎周辺の除草作業 お願い
内容	夏休み明けに、子どもたちが、小学校校舎周辺の除草作業を行います。 小学校及びPTAから本作業への協力依頼がありましたので、よろしくお願いいたします。 日時:8月30日(水) 午前 8時30分~1時間 以上
配布物	「東丘小学校 校舎周辺の除草作業 ご協力のお願い」
提出・問合せ先	東町交流室 TEL/FAX 06-6834-2999 Mail e-kyogikai@dk2.so-net.ne.jp
提出締め切り	理事会開催日の3日前まで (定例 水曜日まで)

## 東町子ども安全見守り隊運営委員会事務局

## ”東町子ども安全見守り隊”について

## 【見守り隊員の活動】

見守り隊員の活動とは、登下校時間帯に通学路を歩行される時に、或いは千里中央や近隣センターに買物に出かける時等に、たすき（ピンクは保護者、緑は地域の人で、隊員証付き）をつけ、子どもたちの安全を見守っていただくことです。また、見守り中、子どもたちや地域の方への挨拶・声かけを行い、不審者を近づけない防犯体性を町全体に広げていく。

## 【見守り隊体制】

\* 隊長：山地 光男（自主参加） 副隊長：福岡 鈴子（自治協理事・防犯）

\* 見守り隊運営委員会（年2～3回の運営委員会を開催）

学校（校長・教頭）・隊長および

PTA・健育・自治協・分館・防犯・福祉・シニアクラブから1名

\* 経費：学校・地域4団体で実費を分割

\* 事務局：学校（教頭）と副隊長

\* 隊員の取りまとめ：各自治会（管理組合）ごとに行う。

◆各自治会（管理組合）の担当窓口を次回理事会までに事務局まで届けてください

【隊員数】 121名（7/1現在）

3-3自治会	31名	UR自治会	18名	グランドメゾン	5名
ジオメゾン	8名	アーバン	2名	桜ヶ丘	16名
OPH	1名	ガーデン	13名	メゾン千里	7名
シティハウス	1名	東町以外	2名	ローレルコート	17名

## 【隊員申し込み・問合せ先】

東丘小学校(6872-0331)、事務局（防犯） 福岡 鈴子(070-5261-9897)

子どもたちの安全を見守る活動に参加頂ける方を募集します。応募者は自治会（管理組合）で取りまとめ事務局まで提出頂きますようお願い致します。